

小瀬川水防災タイムライン 令和3年7月豪雨の振り返りについて

令和4年3月22日（火）

小瀬川水防災タイムライン検討会

令和3年7月の出水対応の振り返り状況

No	機関	部局
1	大竹市	総務部 危機管理課
2	岩国市	総務部 危機管理課
3	和木町	企画総務課
4	中国電力(株)	西部水力センター
5	西日本電信電話(株) 山口支店	災害対策担当
6	西日本旅客鉄道(株) 山口支社	山口安全推進室
7	いわくにバス(株)	バス事業統括本部
8	(一社) 広島県医師会	事務局地域医療課
9	(一社) 山口県医師会	
10	広島県・山口県小瀬川ダム管理事務所	
11	広島県警察 大竹警察署	警備課
12	山口県警察 岩国警察署	警備課
13	岩国地区消防組合 消防本部	消防本部 警防課

各機関からの振り返り内容

○岩国市、和木町:「タイムラインの立ち上げ協議」について

- (和木町)出水期は常時レベル0の運用(立ち上げ状態)のため、本項目の記載を例えば「出水期を除き・・・」に変更してはどうか。
- 「NO.3 タイムラインの立ち上げ協議」については、太田川河川事務所を主体の●とし、広島・山口地方気象台、大竹市、岩国市、和木町を支援・協働の○とし「出水期をのぞく」を追記する。 → **令和4年度版へ反映**
- (岩国市)各機関が協議する状況というのは、むしろ特異なケースであると考えられるので、今後は太田川河川事務所が立ち上げ、移行を通知することとした方が良いと考える。
- 今年度は、水位とトリガーとする通知については、太田川事務所から通知する運用とし、その他については、国、気象台、各市町が協議を行い立ち上げを判断し通知することとしたが、太田川事務所からの一括の通知については、土砂災害警戒情報の様に市町毎に状況が異なるものもあり、まず市町でレベルの判断をして頂きたい。具体的な運用方法については、関係機関で今後協議願いたい。

○中国電力(株)西部水力センター:メーリングリストについて

- レベルの移行について、同じ情報が3通送信されてくる。
- 送信窓口の調整および一本化の検討を願いたい。
- メーリングリストは大竹市用、岩国市用、和木町用の3つを作成しており、それぞれの市町用に向けて発信していることをご了解願いたい。

改善策・問題点等(タイムライン以外で改善)

○和木町

- 弥栄ダムが事前放流を実施される場合には、小瀬川流域の気象、河川情報の収集に注力する。また、防災行政無線による放送及び堤内遊歩道への立ち入り防止への巡視を実施する。さらに、町内河川を含めた巡視の実施をあらかじめ検討する。
- 日中の降雨予測(土壌雨量指数の上昇予測)を基に、空振りを恐れない予防的発令に努める。(夜間の避難発令を避ける。)
(8月13日は、自主避難者の要請により 21:30分に早期避難所を開設)
- 第2警戒体制下での避難所(早期避難所を含む)の開設要員と開設準備について、関係課との連携により業務の分担化を推進する。

○広島県医師会

- 各機関との連絡体制の強化・情報共有を行い、いつでも要請に応える体制づくり。